

令和4年度
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福祉会
認知症対応型通所介護
大津みやび野デイサービスセンター

令和4年度 事業計画

<p>目 標</p>	<p>認知症の症状に応じた活動や支援を実施し、身体機能の維持や活動意欲の向上を図る。</p>
<p>理 由</p>	<p>繰り返し訪れる新型コロナウイルスの流行から外出の機会が減り、心身機能が低下し、意欲の減退に加え、認知症の症状も増悪傾向にあることを踏まえ、認知症の症状に応じた活動や支援をすすめていくことで、住み慣れた自宅での生活の継続を図りたいため。</p>
<p>具体的対応策</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者個々の状態に合わせた脳トレプリントやパズルを一緒に行うことで、認知症症状の軽減を図る。 2. 3密に留意しつつ、レクリエーション活動や野外活動を企画し、五感に働きかけていくことで、活動意欲の向上、心身の活性化を図る。 3. 家族を含め、担当介護支援専門員など関係者に支援内容や活動時の様子などをタブレット端末にて報告し、意見交換を行うことで情報の共有化と支援の質の向上を図る。 4. 既存の広報活動に加え、視覚的効果があるインスタグラムの活用について、担当職員間で検討・協議する。

令和4年度 事業報告

<p>事業報告</p>	<p>個々の認知症状に合わせた脳トレプリントやパズル、塗り絵などを提供するだけでなく、職員が付き添い一緒に取り組むことで個別作業時間の充実を図り、脳の活性化に働きかけることができた。また、3密に留意しつつ、令和3年度にはできなかったレクリエーションや野外活動を実施することで活動意欲の向上に繋げることができた。</p> <p>新型コロナウイルスの影響により、家族と担当介護支援専門員にタブレット端末を活用した報告をする機会がなかったが、利用者毎の個人便りを配布し、活動の様子や取り組みを発信するなど継続した広報活動を行った。家族や担当介護支援専門員からは利用時の様子がわかりやすいと聞いているため、インスタグラムの活用など視覚的にもわかりやすい取り組みに向け、環境整備に努めていきたい。</p>
<p>事業運営総括</p>	<p>令和4年度の稼働率は、上半期に関しては、令和3年度下半期の取り組みを継続したことで平均稼働率は83.7%だった。下半期は短期入所生活介護の利用の増加や介護保険施設への入所などが重なり、平均稼働率が75.2%と下がり、年間稼働率は79.6%となった。</p> <p>令和5年度では、活動意欲がさらに高まるように既存の広報活動に加えて、実施できなかったインスタグラムの活用をし、当事業所での取り組みを発信していくことで周知を図っていきたい。また、利用者や家族、担当介護支援専門員との意見交換も密に行い、自己実現につながるより専門的な支援を実施していくことで、稼働率の上昇を図っていきたい。</p>

要介護度の状況 《平均要介護度 介護 1.74》

令和5年3月31日 現在

	人数	割合
要支援1	0	0%
要支援2	4	14%
要介護1	14	48%
要介護2	3	10%
要介護3	4	14%
要介護4	3	10%
要介護5	1	3%
合計	29	100%

(四捨五入による%の誤差あり)

月間利用実績(人数)

令和4年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	3	2	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	10
要支援2	3	4	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	44
要介護1	14	13	10	10	8	8	9	9	9	10	13	14	127
要介護2	5	5	6	7	6	5	4	4	4	3	3	3	55
要介護3	3	4	4	2	3	3	2	2	3	4	4	4	38
要介護4	4	4	4	4	4	5	5	4	3	2	2	3	44
要介護5	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
合計	33	33	31	28	26	27	25	24	24	24	27	29	331

月間利用実績(延べ人数)

《稼働率 79.6%》

令和4年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	12	7	9	4	5	1	0	0	0	0	0	0	38
要支援2	17	21	21	23	23	23	24	31	28	25	28	33	297
要介護1	137	133	89	92	86	83	84	76	82	93	94	157	1,206
要介護2	60	54	76	69	76	70	60	57	52	46	45	50	715
要介護3	35	45	45	39	37	29	21	20	25	28	26	30	380
要介護4	19	13	17	16	18	22	23	18	18	15	15	17	211
要介護5	6	7	21	6	5	5	6	7	5	6	6	6	86
合計	286	280	278	249	250	233	218	209	210	213	214	293	2,933

開所日数

令和4年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	26	26	26	26	27	26	26	26	24	23	24	27	307

曜日別延べ利用実績

令和4年度

	月	火	水	木	金	土	合計
人数	520	530	447	483	493	460	2,933
割合	18%	18%	15%	16%	17%	16%	100%

1週当り平均利用人員

令和4年度

	月	火	水	木	金	土	合計	1日平均
人数	10.2	10.4	8.8	9.5	9.5	9	57.4	9.6
割合	18%	18%	15%	16%	17%	16%	100%	—

回数別利用人員

令和5年3月31日現在

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	合計
人数	7	10	5	7	0	0	29
割合	24%	34%	17%	24%	0%	0%	100%

(四捨五入による%の誤差あり)

保険者の状況

令和5年3月31日現在

保険者	人数
姫路市	29
合計	29

年齢別構成状況

令和5年3月31日現在

	65歳以下	65歳以上 から 70歳未満	70歳以上 から 75歳未満	75歳以上 から 80歳未満	80歳以上 から 85歳未満	85歳以上 から 90歳未満	90歳以上	合計
男	0	1	0	4	4	1	3	13
女	0	1	2	6	3	4	0	16
全体	0	2	2	10	7	5	3	29

日常生活状況

令和5年3月31日現在

区 分		実数	割合
歩 行	自 力 歩 行	18	62.1%
	杖等の歩行補助器使用	6	20.7%
	車いす使用	5	17.2%
食 事	自 分 で 可 能	24	82.8%
	一 部 介 助	3	10.3%
	全 介 助	2	6.9%
入 浴	自 分 で 可 能	17	58.6%
	一 部 介 助	3	10.3%
	全 介 助	9	31.0%
着 替	自 分 で 可 能	19	65.5%
	一 部 介 助	3	10.3%
	全 介 助	7	24.1%

区 分		実数	割合	
排 泄	トイ レ	自分で可能 介 助	11 17	37.9% 58.6%
	内おむつ使用		1	3.4%
	認 知 症 高 齢 者		29	100.0%

対 象 人 数	29
---------	----

(四捨五入による%の誤差あり)

行事報告

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
4月	ドライブ：桜・芝桜観賞 作品作り	計算ドリル 漢字トレーニング 塗り絵	ボーリングゲーム バケツボール入れ
5月	園芸 作品作り	計算ドリル・塗り絵 各種パズル	風船バレーボール ボールコロコロインゲーム
6月	ドライブ：紫陽花観賞 作品作り	計算ドリル 漢字トレーニング 塗り絵	輪投げゲーム ボールコロコロインゲーム もぐらたたきゲーム
7月	七夕飾り作り 作品作り ドライブ：蓮の花観賞	書道（ペン）習字 塗り絵・計算ドリル	ブロック積み 絵合わせゲーム ボーリングゲーム
8月	作品作り	計算ドリル・塗り絵 書道（ペン）習字	バケツボール入れ 風船バレーボール 音楽体操
9月	園芸 作品作り お菓子作り	書道（ペン）習字 カラオケ・塗り絵 計算ドリル	おじゃみ投げ ブロック積み ボーリングゲーム
10月	ドライブ：コスモス観賞 作品作り 園芸	漢字トレーニング 計算ドリル・塗り絵	絵合わせゲーム 輪投げ 風船バレーボール
11月	ドライブ：紅葉観賞 作品作り	計算ドリル・塗り絵 漢字トレーニング 書道（ペン）習字	バケツボール入れ ボール体操 絵合わせゲーム
12月	クリスマス会 作品作り	計算ドリル 漢字トレーニング 塗り絵	ボーリングゲーム おじゃみ投げ ブロック積み

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
1月	作品作り	計算ドリル 漢字トレーニング 書道・塗り絵	風船バレーボール バケツボール入れ 絵合わせゲーム
2月	節分豆まき (鬼当てゲーム) 作品作り	計算ドリル 漢字トレーニング ペン習字・塗り絵	風船バレー 輪投げ ボール投げゲーム
3月	ドライブ外出：菜の花 作品作り	計算ドリル 漢字トレーニング ペン習字・塗り絵	ブロック積み おじゃみ投げ バケツボール入れ

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
定期的	ドライブ外出 お誕生日会	書道・ちぎり絵	ビデオ体操・散歩・口腔体操 メドマー・マイクロサーミー ラジオ体操

職員間の内部研修の実施状況 (令和4年度)

研修名	研修内容	参加職種	参加人数	期間	講師(職・氏名)
基本理念・接遇研修	法人理念・服務心得・ハラスメント、高齢者虐待・人権意識、個人情報保護について	全職種	7名	4月23日	管理者
リスク管理研修	ヒヤリハット数と事故報告件数の対策の視点について	全職種	5名	6月19日	生活相談員
感染症研修	熱中症予防とコロナ感染について	全職種	6名	7月24日	看護師
リスク管理研修	ヒヤリハット数と事故報告件数の対策の視点について	全職種	6名	9月24日	生活相談員
リスク管理研修	ヒヤリハット数と事故報告件数の対策の視点について	全職種	6名	12月19日	生活相談員
感染症研修	感染に関する学び・対策について	全職種	4名	2月18日	看護師
リスク管理研修	ヒヤリハット数と事故報告件数の対策の視点について	全職種	5名	3月25日	生活相談員

避難訓練の実施状況 (令和4年度)

実施日	訓練種目	訓練内容
5月16日	日中火災避難訓練	厨房からの火災発生時の避難誘導確認訓練
6月22日	日中火災避難訓練	包括事務所からの火災発生時の避難誘導確認訓練
9月27日	日中火災避難訓練	二階エレベーター前からの火災発生時の避難誘導確認訓練
11月18日	日中火災避難訓練	一階保育園玄関前による火災発生時の避難誘導確認訓練

苦情対応

発生日	苦情内容	解決方法
令和4年 11月10日	<p>「入浴時の接遇について」</p> <p>サービス担当者会議の場で、利用者より「入浴時に言葉遣いの悪い職員がいるので、改善してほしい」との申し出がある。</p>	<p>①その場で生活相談員が、不適切な対応から不快を感じさせてしまったことについて、利用者に陳謝する。</p> <p>②管理者にこの旨を報告し、管理者から該当介護員に嚴重注意を行うことを約束する。</p> <p>③事業所として、利用者が不快を感じる対応がないように全職員に対し、朝礼や会議等でこの旨を伝え、入浴支援時には所作などにも留意し、対応していくことを説明すると理解が得られた。</p>

事故対応

発生日	事故内容	事故対策
令和4年 6月2日	<p>「接触事故」</p> <p>迎え時、対向車が来たため、利用者宅の駐車スペースに駐車しようとした際に、前方のブロックに接触した。前方のフロントバンパー部分が外れた。</p>	<p>①心に余裕を持った運転に努める。</p> <p>②ハンドル操作前にブロック等の位置関係を把握する。</p> <p>③車幅間隔を身につけ、駐車場の幅が限られる場所では、周囲の状況を確認しつつ、慎重に操作する。</p> <p>④接触しそうな場合は、前進せず、後退操作を行う。</p>